

減りすぎ注意

〈ドリラーのひとりごと〉 第8話

ポリッシュ

「なんかフィンガーがゆるくなってきた・・・」
「指乗りが悪くなった・・・」

こんなこと思ったことある方いらっしゃいますか？そこでこんな質問です。

「フィンガーグリップ交換をしていますか？」
「ニューボールを買ってから一度も交換したことがないとかありますか？」



ないという方・・・これは、フィンガーグリップの山が減ってきたことが原因のひとつかもしれません。

フィンガーグリップはメーカーや商品により多少異なりますが、ゴムなどでできています。

ですので、投げていくうちにだんだんとすり減ってしまいます。普段から投げていると、意外と気にならなくて、わからないかもしれませんが、でも新しいグリップとぜひ比較をしてみてください。その違いに驚かれると思います。グリップ内の山の感じ方がまったく違いますし、色も違うと思います。劣化して黒くなったり色褪せたりしていませんか？

なかには、新しいグリップを「きつい」と感じる方もいると思います。「本当に同じサイズですか？」と聞かれたこともあります。それだけ使い込んでくればすり減ってしまういわば消耗品です。

もちろんすり減ったからと言って投げられな

いというわけではありません。すり減ったまま打球すると、緩くなっているわけですから、握ったり、無理な力を使って打球をしようとしてしまうことがあるので、よいこととは言えません。さらに、劣化してくるとフィンガーグリップそのものが固くなることもあります。そのため、すり減り方や劣化の状況によっては、指を切るなど思わぬケガをする可能性もあります。

「指乗りが悪い」「ゆるい」は交換のサインかもしれません。そんなときは交換をしないで、常にいい状態を保ってください。たしかにお金のかかることなのでなかなか思うところは多々あると思いますが、常に同じ状態・良い状態を保つことがスコアアップにつながります。

新商品情報

一つ目はDV8「バンダル」です。新コアに新カバーストックの新シリーズ。表面を削っても常に新しい状態が維持できるような新技術が用いられています。そして新コアにより、バックエンドでの強いリアクションが魅力です。今回は特価でご提供いたします。

二つ目はロトグリップ「スマートセル」です。大人気セルシリーズですが、今回はハイブリッド素材を使用し、ヘビー用でありながら、適度な走りを兼ね備えたボールです。スタートから中盤まで幅広く使うことができる製品です。ピン飛びも抜群です。

今回はポリッシュについてです。

ポリッシュとは簡単にいうと、ピカピカに光らせることです。ポリッシュの仕方ですが、ポリッシュ液をタオルなどにつけて磨いてあげます。スピナーで回しながら磨くとよりしっかりと光ってきます。原理は、車のボディにコンパウンドをつけて磨くと光るのと一緒です。

ポリッシュ液はだいたいが業務用で、個人で購入することはほとんどないと思います。当ショップでは数種類のものを使用しています。メーカーや種類により同じように加工をしても光り方が異なります。メーカーの出荷状態の表面加工に戻すときや、お客様の要望に応じてポリッシュ液を使い分けています。

また「2000番ポリッシュ」というのは、2000番のパッドで磨いたのち、ポリッシュ液で光らせるということです。



（※一部のメーカーでは異なります）また、同じポリッシュ液でも、パッドの番手が1000番と4000番では、同じポリッシュ加工の仕方でも光り方やリアクションは変わります。4000番ポリッシュしたほうが、下地が細かいのでより光ります。

ここまで表面加工についてご説明してきましたが、思った以上に奥が深いと思っただけではありません。

時間も手間もかかる作業になりますが、近年は自動で表面加工してくれる機械もあります。次回はその紹介をしていきます。